



所属部署：看護部
精神看護看護師（リエゾンナース）

Q1 スペシャリストとして主な業務内容を教えてください。

私は看護部に所属しながら認知症ケアチームや身体拘束最小化チームの専任看護師として、患者さんがより安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。加えて、精神科リエゾン活動、倫理コンサルテーションチーム、メンタルヘルスサポートなど、院内のさまざまな場面で患者さん・ご家族・スタッフの支援を行っています。現場とは異なる立ち位置だからこそ、患者さんやスタッフとの信頼関係の構築を何より大切にしています。答えを一方的に提示するのではなく、一緒に悩み、寄り添いながら進むプロセスを重視しています。

「困ったらとりあえず永田さんに相談してみよう」そう思ってもらえる存在でありたいですね。

Q2 仕事をする中で難しさを感じることも、またやりがいを感じることを教えてください。

病棟のように24時間患者さんのそばにすることができないため、直接的で継続したケアを提供することは難しいと感じています。また横断的に活動しているため、現場のスタッフとの信頼関係が十分に築けていなければ、効果的なコンサルテーションは成り立ちません。だからこそ、できるだけ客観的な視点で状況を見極め、「どのように動けば期待する成果が得られるのか」を常に考えています。私が直接関わるよりも、他の人が介入した方が望ましい場合は、その調整を行うこともあります。こうした役割を通して、患者さんやスタッフの力を引き出し、より良いケアや環境づくりにつながったと感じられたとき、大きなやりがいを感じます。

Q3 横浜南共済病院の〈ここが好き〉〈魅力〉〈PRポイント〉を教えてください。

看護師だけでなく、医師やその他のコメディカルも含め、とてもアットホームな雰囲気があります。中途で入職した私を、まだプレ・リエゾンNs.だった頃から温かく受け入れてくれました。職種や部署の垣根を越えて協力し合える関係性があり、「一緒に患者さんのためにできることを考える」という空気が病院全体に流れています。このチームワークの良さは、横浜南共済病院の大きな魅力だと思います。

Q4 今後の目標や目指していることを教えてください。

これまで培ってきた経験や専門性を、院内だけでなく地域や院外にも広げていきたいと考えています。患者さんやご家族だけでなく、共に働くスタッフにも視野を広げ、より安心してケアができるような支援や環境づくりを行っていきたいです。病院内外でのつながりを活かし、多くの人にとって「相談しやすく頼れる存在」であり続けたいと思っています。